

## 下関幸陽園 令和7年度 地域連携推進会議 議事録

● 日 時 令和8年3月19日(月) 10:00～

● 場 所 本館 相談室

● 出席委員 木嶋 洋一郎 ――― 下関幸陽園 入所中利用者(入所11年目)  
岩野 清美 ――― 利用者家族:保護者会会長  
福場 悟 ――― 地域の関係者:元 朝日ヶ丘自治会 会長  
本倉 幸代 ――― 福祉に知見のある人:元 ピースオブマインド・はまゆう職員  
新谷 恵 ――― 経営に知見のある人:第二くすの園 施設長

● 施設職員 清家 虎太郎 ――― 下関幸陽園 施設長  
福澄 恵美子 ――― 下関幸陽園 介護課長

● 次 第 1. 開会の挨拶  
2. 地域連携推進会議 構成員紹介  
3. 下関幸陽園について  
4. 地域連携推進会議について  
5. 施設内見学  
6. 意見交換及び質疑  
7. 閉会

### 1.開会の挨拶

下関幸陽園 施設長 清家より挨拶。

### 2.地域連携推進会議 構成員紹介

構成員による自己紹介を実施。清家施設長より構成員選任の理由を説明。

### 3.下関幸陽園について

清家施設長より、施設運営 / 概要(沿革、改修、定員) / 職員体制 / 居室形態 / 医療体制 / 給食 / リハビリ / 入浴 / 行事 / 余暇活動 / 創作活動への取り組み等を紹介。

#### 4.地域推進連携会議について

清家施設長より、地域連携推進会議の目的、構成員の役割、施設訪問時に確認するポイント等を解説。

#### 5.施設内見学

木嶋さん(入所中利用者)を除く、委員4名＋施設長・介護課長で施設内見学を実施。

#### 6.意見交換及び質疑

施設見学後、木嶋さん合流。休憩を挟み、質疑応答を行った。

[ 施設見学の所感について ]

Q: 施設を見学した印象はどうか?

A: 「天窓から自然光が入り、施設内広くて明るい」「動線が良い」「基本、平屋構造なのでどこからでも居室にアクセス出来て良い」「外観と印象が大きく異なり、中が広くて明るいと感じた」「施設内、よく清掃されていた。職員の方々が挨拶をしてくださり気持ち良かった」との評価があった。建物は、築40年。昨年、社会福祉充実計画に沿って大規模修繕を行ったと施設長より補足説明があった。

[ 居室運用と個室化計画について ]

Q: 入所施設は感染症の不安が消えないが、今後、個室化の計画等はあるのか?

A: 現時点では、個室化の具体的な計画はありません。当法人は1拠点での運営であり、施設建て替えに伴う、入所者様の仮移転先の確保が物理的に難しいためです。引き続き、現在の施設環境において最大限の感染予防対策を徹底してまいります。

[ 体調不良時の緊急搬送・医療連携について ]

Q: 体調不良者が出た際の夜間対応や緊急搬送においてどのような課題があるか?

A: 夜間は看護師が不在のため、LINEで画像を共有し、嘱託医の判断を仰いでいますが、画像確認の段階で重症化しており、救急要請になりやすいのが現状です。また、救急車到着後も受入先決定に時間がかかり、待機することが多く、救急隊と病院の地域連携の間で不一致もあり、受入調整が難しくなっている点が課題としてあります。

[ 面会・外泊・帰省の運用について ]

Q: 感染症対応を踏まえた面会や外泊等の運用と、家族状況の変化はどうか?

A: 面会は活動室を使用した予約制としています。外泊・帰省については、年末年始・GW・お盆に期間限定で枠を設け、最大2泊3日等に制限しています。保護者の高齢化で家族関係が密でなくなっており、家庭での受け入れが難しいケースが多いと感じています。

[ 意思決定支援・地域移行について ]

Q: 本年度から義務化された個別支援計画での地域移行の確認には、どう対応しているか？

A: 発語がない・理解が難しい等の理由で本人への意思確認が困難なケースが多く、利用者へは移行確認責任者(職員)による聞き取り。保護者へは、アンケート用紙を送付する形式で対応しています。地域移行を考える以前にその他の課題が多く、制度が現場の課題を飛ばして進んでいるように感じています。

[ 利用者の要望と外出支援について ]

Q: 利用者からの要望はどのように吸い上げ、外出支援などは行っているか？

A: 目安箱の様なものを設置しており、そちらで要望を収集。2ヶ月毎に利用者全体集会を開催し、利用者全員の前で要望に対して担当者が回答している。食事関連の要望が多い。利用者様からの外出に関する要望(買い物、コンサート、スポーツ観戦、映画等)に対しては、職員同行による外出支援体制(費用は利用者様負担)を構築し、実施しております。なお、感染症の情勢によっては、外出先の制限、規模の縮小、あるいは実施を休止するなど、柔軟かつ安全に配慮した対応を行っています。

新谷委員より、外出が難しい時期、第二くすの園では、施設へ演者を呼んで公演を実施した例が共有されました。

[ 採用・実習受け入れについて ]

Q: 新卒確保に向けた実習の受け入れ状況はどうか？

A: 専門学校からの実習受け入れは採用(または就職)に結びつきやすいため、介護福祉士会の交流会へ学生の参加を促し、継続的な関係構築を図る取り組みを行っている。一方で、県立大学等の実習生は教員志望が多く、採用につながりにくいという現状があります。新卒採用は職員の年齢構成改善に資する一方、退職が重なるリスクへの懸念もあります。

## 7.閉会

閉会にあたり、清家施設長より、ご多用中のところ、また平日の午前中にもかかわらず、お集まりいただいた委員の皆様に対し、深く感謝の意が述べられ、本会議は閉会した。

以上

## 会議 / 施設内見学の様子

